

# 米奥小だより

令和6年9月3日(火)

No.18

米奥小学校 校長 北添 忠

## 〇アユ釣り・カヌー教室

終業式の翌日の7月20日(土)に、アユ釣りカヌー教室が行われました。保護者や学校運営協議会の方々、四万十川財団の神田さんや淡水漁協の方々等、たくさんの方の支援を受け、今年も行われました。4年生以



下の水生生物探しでは、石の裏側などからたくさんの水生生物が見つかりました。中には、四万十川でよく見られるヒラタドロムシを爪につけ、ネイルのように楽しむ児童もいました。5年生以上が挑戦したアユ釣りでは、児童1人に指導者1人がつき、

マンツーマンでトライ。今年はアユが少ないとのことでしたが、3匹のアユを釣ることができました。昼食時には、淡水漁協の方々の指導のもと、4年生以下の児童がアユに塩をまぶし串に刺したものを、時間をかけて炭火で焼いたアユの塩焼きをみんなで食べました。午後にはカヌー教室が行われ、1年生はみんなでボートに、3年生以上は1人でカヌーに乗り、四万十川を約1km下りました。たくさんの体験が組み込まれた米奥小の夏の一大行事が、今年も無事終わりました。



## ○夏休みの出来事を写真で紹介

7月26～28日に、大塚彰人君（米奥小出身）がインターンシップに来てくれました。教員研修に参加したり、夏祭りの準備などもしてくれました。



7月27日に沈下橋夏祭りが行われ、約500名が来場しました。子ども相撲は大変盛り上がりました。



8月2日に、5年生を対象にした川がきが行われ、米奥小からも2名が参加しました。



8月25日に愛校作業が行われました。保護者や地域の方々、児童らが参加し、2学期に向けて、窓ふきや草刈り、草引きやマスト立てなどをしました。

8月28日に、校内研修を行いました。講師は高知大学の是永教授。児童の特性に合わせた指導について学びました。研究所からも2名の参加がありました。

